

親 『子供に財産残さず、老後頼らない』 『当てにしてない』

東京スター銀行がこのほど発表した「親世代と子世代を対象とした「資産に関する意識調査」の結果から、先祖代々の土地を相続するような昔ながらの家族像ではなく、財産面で相互に依存していき、今どきの親子関係が浮かび上がった。

家族像が変化 民間銀調査

調査結果によると、親世代(60代)のうち「財産を子供に残さず、老後は子供に頼らない」と「その考えに近い」と答えたのは、合計で全体の76%に上った。一方、子世代(30、40代)も「まったく当てにしない」「あまり当てにしない」で、親の資産にはあまり興味がないようだ。調査は、住宅を担保に老後資金を借りる「リバースモーゲージ」の市場調査のため、住宅を保有する60代の500人と、住宅を対象に実施した。

毎日の朝食で 幸福感アップ

東北大調査

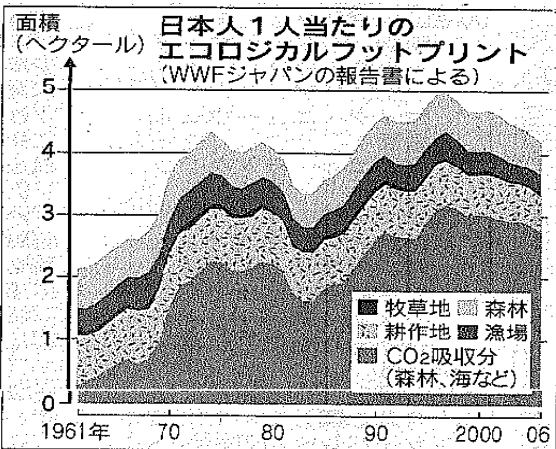
朝食を毎日とる社会人は幸福感が強く、健康や家族を幸せの基準ととらえていることが、東北大加齢医学研究所の調査で分かった。仕事や趣味など、生活への満足度も高かった。調査は、仕事を携った20、30代の各年代の男女1000人ずつ、計10000人を対象に、幸せ度やライフスタイルについて尋ねた。幸せ度の自己採点(100点満点)の平均は65.1点。朝食の頻度別にみると、毎日食べる人(637人)の平均は67.9点で、週2回以下(156人)の59.0点より10ポイント近く高かった。週3、6回の人は61.1点だった。

日本人の暮らし 世界中で営むと

WWF報告書

食生活など見直しを

世界中の人が日本人と同じ暮らしをしていたら地球が2つ以上必要になる。WWF(ワイルドライフ・ファンデーション)が発表した「ある国の人間が生活に必要な農地や海、森林などの合計面積を示す「エコロジカルフットプリント」という指標を使い、日本人に生活様式の見直しを求める初の報告書を発表した。報告書は、日本人は国土が本来供給できる量に比べ、7倍近い自然資源を利用してしていると指摘。WWFは「過度に輸入に依存する食生活を直し、廃棄される食料や二酸化炭素(CO2)の排出量を減らして、環境負荷を下げる努力をすべきだ」としている。



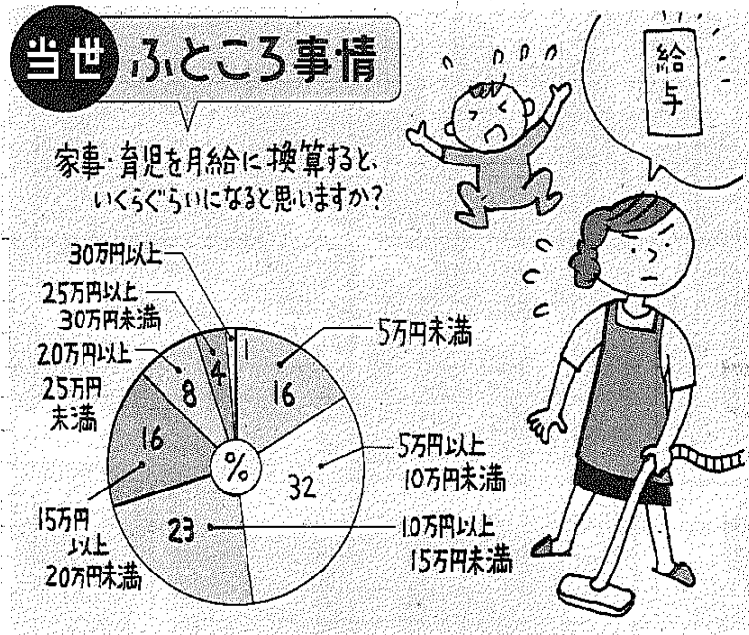
人間が生きていくのに必要な食料を生み出す耕作地や漁場、生活に伴って排出される二酸化炭素(CO2)を吸収する森林や海などを合計した面積で示す指標。地球を踏み付けた足跡(フットプリント)の意味で、研究者らは世界の単位面積当たりの資源供給量やCO2吸収量で換算したgha(グローバルヘクタール)という単位を用いている。国民1人当たりの数値は地域ごとに異なる環境負荷を比較するのにも使われる。



『地球2つ必要』

家事・育児を月給に換算したら？

「5万円以上10万円未満」が32%



調査の方法 調査会社のマクロミルに依頼し、インターネットで実施。対象は全国の成人既婚男女で、有効回答は618人(男女半々)。

実践

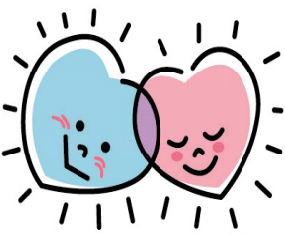
マナー塾

お願いには『プラスひと言』

ちょっとしたことでも頼まれたとき、「ハイッ」と気持ちよく働ける場合と「エーッそんなの自分でやれば？」と拒否したくなる場合がありま。忙しいから手伝えな手のちよつとした心遣いのひと言で、違いは生じてくるようです。

その点「今ちよつといい？」「今大丈夫？」「悪いけどいいかな」などという配慮のひと言が、付くだけで、「はいどうぞ」と素直に思えるもの。この心理は誰にとっても同じなのではないでしょうか。

「この伝票を整理まで届けてほしい」「お昼のお弁当、私のも買ってきて」「行ってきて」「買ってきて」「行ってきて」「行ってきて」



(コミュニケーション塾) 主宰 今井 登 茂子

8月、9月 阪神職当選者発表

Table with 2 columns: 8月, 9月. Rows list candidates and their parties/organizations.

献血に行こう!

10月14日(木)、19日(火)

大阪では毎年、約40万人の方が献血をされているそうです。その中のひとりになれれば...と。土屋社員! 今回も献血に。出動致しました。



清掃ハイキング

10月24日(日)

今回も3班に分かれてわが町の清掃活動を行いました。少しでもキレイになったでしょうか? 小さな事ですすがこれからも積み重ねてまいります。

